

イサゴコモリグモ *Pardosa isago* Tanaka

【選定理由】

県内では、豊川と矢作川の中流域の河川敷に生息するが、生息域はきわめて狭く、且つ個体数も少ない。河川工事等に伴う生息域の開発等で、個体数の減少が心配される。

【形態】

体長 5~7mm。腹部は灰褐色で細長い。背甲には銀灰色の毛が密生している。歩脚には黒褐色の輪紋がある。



岡崎市岡町(乙川), 2006年9月14日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

県内では、豊橋市と豊川市(旧豊川市・旧宝飯郡一宮町)にまたがる豊川河川敷、豊田市(旧旭町)矢作川本流、岡崎市乙川(矢作川支流)河川敷に分布する。

国内では、本州、四国、九州に分布する(新海ほか, 2018)。

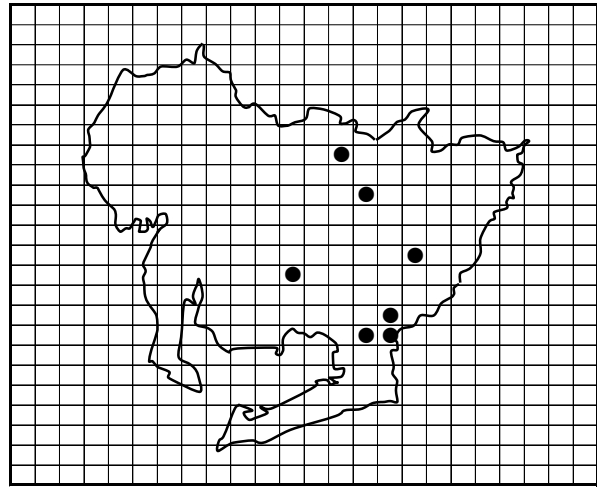
【生息地の環境／生態的特性】

河川敷を生息地とし、拳大の石の間を敏速に徘徊する。5月ごろから成体になり、雌は糸器に卵嚢を付けて徘徊する。

【現在の生息状況／減少の要因】

確認されたすべての地域で、数頭から数十頭と極めて少ない。

県内分布図



【保全上の留意点】

河川の護岸工事による生息地の破壊が問題である。また、生息地では車の河川敷への乗り入れ、釣りやバーベキュー等の娯楽を目的とした立ち入り等は慎むべきである。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

- 千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. pp.115,246. 偕成社, 東京.
- 八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. pp.44,165. 保育社, 大阪.
- 新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.164. 文一総合出版, 東京.
- 小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.245-246. 東海大学出版会, 神奈川.
- 小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.336,558. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)